

# ふらっとニュース

No,34 2023年11月号 ★★☆☆

発行

社会福祉法人つながり  
児童発達支援・放課後等デイサービスふらっと  
〒569-0814 大阪府高槻市富田町2丁目11-22

TEL 072-668-2781  
FAX 072-668-2785  
E-MAIL [tsunagari.flat@gmail.com](mailto:tsunagari.flat@gmail.com)  
HP <http://www.tsunagari.info>

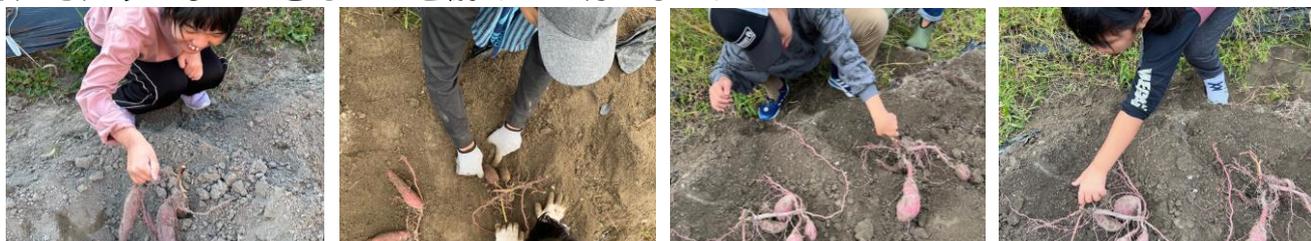
日が暮れるのが一段と早くなり、朝晩の冷え込みに晩秋の訪れを感じます。ふらっと周辺の落ち葉が黄やオレンジへと姿を変え、お散歩が一段と楽しい季節となりました。

さて、9月から10月にかけて、新しい個別支援計画書の作成に伴い、モニタリング面談を行いました。保護者の皆様、ご多忙の中お時間をいただきまして、ありがとうございました。今後も計画書に沿った支援を行い、子どもたちの日々の成長をじっくりと見ていきたいと思えます。

## \*さつまいも掘りを行いました\*

昨年に引き続き、今年も畑でさつまいも掘りを行いました。さつまいもは土の奥深くまでできているため、いもの周りの土をたくさん掘ってから引き上げていきます。いもが見えてから、引き上げるまでの土を掘る時間が長い分、引き上げた時の達成感はずいぶんすごいですね！

採りたいもを箱にどんどん入れてくれる方、軍手をはめて周りの土を落としてくれる方、それぞれみんなができることを協力して行いました！



## \*10月工作活動の様子\*

壁画工作では、「木にとまるフクロウ」をイメージして作成しました。

フクロウのお腹部分の小さい穴に毛糸を通す際には、通しやすくなるように自分たちで糸の先端を短く持ったり、片手で穴に入れて後ろから出てきた糸を引っ張るといったことが素早く出来たり、たくさん子どもたちの成長を見ることができました♪

目や口の貼る位置、黒目の大きさによっていろいろな顔のフクロウが出来上がりました！



## ミニ情報

フクロウは大きな眼球を支えるために、頑丈な頭の骨に眼球が固定されているので、人間のように眼球を動か

かすことが出来ません。そのため、首がくるくると回ります。首の骨が 14 個もあり 270 度の可動域を持っているそうです👻

持ち帰り工作では、10 月のイベント、ハロウィンに向けて制作を行いました！今回は、3 パターンの作品のいずれか 1 つを子どもたちに作成してもらい、持ち帰っていただきました。

まずは、縫い物組のハロウィンリースです。カボチャやフランケン、コウモリなど、それぞれのフェルトを型取りするところから始めました。見本を見ながら、何色のフェルトが何枚必要なかをスタッフと一緒に考えながら取り組みました。

縫い物は糸が短くなると玉止めをし、糸を針に通し、玉結びをしてまた再スタート…と、1 つの物を作るのにとても時間がかかりますし、忍耐力が必要だと思います。ハロウィンの日までに持ち帰れるように頑張ろう！と、決められた日までにここまで仕上げることができた子どもたちに拍手です。



2 つ目の作品は 10 月の壁画でも行った、毛糸のコウモリと蜘蛛、不織布のオバケとカボチャを作成しました！

毛糸は 20 周以上巻き付けていきました。子どもたちが 1 つのことに集中する時間を増やし、同時に指先や手首を動かすことを目的に行いました。

蜘蛛やコウモリの小さい目を指でつまんだり、蜘蛛の足になるモールの先端にボンドを少しだけつけて貼り付ける等、難しい工程もありましたが、時間をかけて皆さん頑張りました！



最後の 3 つ目の作品は、ペーパーの芯とフェルトを使用してカボチャやコウモリ、ガイコツを作成しました！

それぞれの色のフェルトを芯に巻き付けて貼る際には、フェルトがだんだん斜めにズれていないか、横からまたは上から確認をしながら慎重に取り組むことが出来ておられました。

カボチャの帽子や、ガイコツの口など、細かいフェルトのパーツを 1 つずつ丁寧にボンドで貼り付けておられました。

